

下関市中学校生徒指導主任研修会 生徒指導主事とは？

下関市内の中学校の生徒指導主事の皆さんに加え、市教育委員会関係者や参加を希望された校長先生方と共に「生徒指導」について協議を通して学び合いました。問題行動、いじめ、不登校、保護者対応や関係機関との連携等、日夜組織的に生徒指導に取り組むキーマンとして活躍されている方々だからこそ、熱心にそして楽しく参加していただきました。特に、研修前と研修後の「生徒指導主事」のイメージが大きく変わっていたのが印象的でした。

研修前	研修後
学校警察 (特攻隊)	ほめほめ推進委員長
亭 抱	笑顔でやる 生徒も先生も
次男 トキ ~乗剛利 肩指OOのり(相対相対 ほめ)	2UP. 慈愛心
中間の中間管理職	人の意識や見方、考え方 がある人
ハブ (情報の集約・中継点)	ミソと「ほめる」 ミソと「叱る」担当
いたばさみの仕事 (ポジション)	やりがいのあるポジション
生徒と生徒、生徒と教師、教師と教師 学校と関係機関など、人々との つながりを担う役割をもつ仕事。	「ほめる」と「叱る」を バランスよくもった 接着剤
何となく屋	何となく屋の社長



NO.707 2022年1月 下関市中学校生徒指導主任研修会

鏡は先に笑わない

笑顔は伝染する。自分が笑顔だから相手も笑顔になる。だから、自分から笑顔になろう。



NO.705 2022年1月 下関市中学校生徒指導主任研修会

楽しいことは

正しいことは伝わりにくい。楽しいことは伝わりやすい。だから、正しいことを楽しく伝えよう。

日頃ほめることが圧倒的に多く、褒められる場面ばかり
ないかと改めて感じました。自分自信はほめられた方がやる
気になるの、当然生徒もそうだと思います。しっかりと
生徒にわかりやすく、適切にメッセージでほめていきたい
ですし、こうした教職員集団をつくりたいと思います。



NO.706 2022年1月 下関市中学校生徒指導主任研修会

細部をほめる

ほめる時は、事実について具体的に伝える。「そこに気がついてくれたのか!」と、思わせるくらいに。



NO.704 2022年1月 下関市中学校生徒指導主任研修会

美点凝視

よく見ると相手の良さが見えてくる。もっとよく見ると、これまで気がつかなかった相手の価値を発見できる。



先手ほめ

ほめるのは、相手の良さや価値を発見し、言葉と態度で伝えていく。自分からやってみよう。



大人の笑顔

大人が楽しそうだと、子ども達は、はやく大人になりたいと思う。未来の大人のためにも笑顔でいよう。

上記↑の2つの写真は、前日に行われた、山の田中学校での有志による職員研修から

生徒指導では教員に対して正しいと思ってる事、正しいこと
多しなると。正論として伝える事も自分の責任だと気がする。
正しいことを正しく伝える。時に相手も気づいていてくれるという
ことを改めて考えさせられました。生徒間、教員間が楽しく
学校生活を送れる雰囲気づくりにしていきたいと思っております

褒めると、思いと違ったり価値のかけらにのちのち大切だと感じます。
同じ思いをもつて、「ほめる」「褒める」として相手か
たすに変わると、かたをほめることができる存在と学びました。
しっかりと褒め、しっかりと叱る教師になりたいと思っております。

とても自分自身が考えさせられる時間があった。今後を振り返り
がて、子どもに対してどうだったのか、自分がどうだったかを
ていくか存在の、その度教えたかその教員、人々に対して
褒めたい、褒めたいので、今日学校に戻って褒めたい
言葉を書いた。

楽しい研修、いざなわれていた、研修が楽しかった、楽しかった。
研修がある、いざなわれていた、研修が楽しかった、楽しかった。
研修がある、いざなわれていた、研修が楽しかった、楽しかった。
研修がある、いざなわれていた、研修が楽しかった、楽しかった。

生徒指導主任は任せて、頼りなくていいから
何となくやる、いざなわれていた、研修が楽しかった、楽しかった。
自分が、いざなわれていた、研修が楽しかった、楽しかった。
自分が、いざなわれていた、研修が楽しかった、楽しかった。
自分が、いざなわれていた、研修が楽しかった、楽しかった。

本日の研修で、自分の大切さを実感した、生徒一人一人の
よさを発見して、認めて感謝と励みになることをこの実践して
いきたいと思つた。また叱り方についても、正しい叱り方
を探している、自己をより高めたいと思つています。

自分の大切にしたいと思つての具体的な答え、これ
が、いざなわれていた、研修が楽しかった、楽しかった。
研修がある、いざなわれていた、研修が楽しかった、楽しかった。